

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
キャットミュージック カレッジ専門学校	1988年3月30日	井原 延治	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話)06-6369-1101			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人大阪創都学園	1988年3月30日	鈴木 雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話)06-6369-1101			
目 的	本校は教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・ 教養	文化・教養専門課程	楽器ビジネス学科 ギターエンジニア専攻	昼 2年	1728単位時間 (又は単位)	H17.12.26 文科省 告示第176号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	448単位時間 (又は単位)	128単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1152単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	16人	4人	3人	7人		
学期制度	■前期 4月1日～9月30日 ■後期 10月1日～3月31日	成績評価		■成績表(有・無) 有り ■成績評価の基準・方法について 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価		
長期休み	■学年始め: 4月11日 ■夏 季: 7月21日～8月31日 ■冬 季: 12月21日～1月9日 ■学 年 末: 3月21日	卒業・進級条件		前後期総合評価結果及び2/3以上の出席		
生徒指導	■クラス担任制(有・無) 有り ■長期欠席者への指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有	課外活動		■課外活動の種類 ■サークル活動(有・無) 無し		
主な就職先	■主な就職先、業界 楽器製造・卸・販売及び音楽関連業界 ■就職率※1 81.82% ■卒業者に占める就職者の割合※2 81.82%  (平成28年度卒業者に関する平成29年4月時点の情報)	主な資格・検定		MIDI検定		

中途退学の現状	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 16.67%</p> <p>平成28年4月1日在学者 24名(平成28年4月入学者を含む)</p> <p>平成29年3月31日在学者 19名(平成29年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>・経済的理由 ・別途進路へ進む為</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>個人面談を定期的に実施個別のマッチング状況確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.cat.ac.jp/">http://www.cat.ac.jp/</a>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。
  - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
  - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- ※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

### 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の理念でもある、“企業にとっての信頼できる教育機関である”ために、教育課程編成においては、より業界ニーズに対応できるよう、実践的な教育カリキュラムの開発や施設設備及び実践研修環境の充実を図ることを目的とし、教育課程編成において業界関係企業と連携していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月16日現在

名前	所属
井筒 稔晴	一般社団法人日本音楽スタジオ協会(有限会社グルーヴ代表取締役)
里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス 代表
稗田 奨	Jー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー 代表 Producer
井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ 代表
森 久誌	株式会社 フォレスト
木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス 代表取締役
森 正	キャットミュージックカレッジ専門学校 教務主任
小池 敏	キャットミュージックカレッジ専門学校 キャリアセンター課長
杉山 徹	キャットミュージックカレッジ専門学校 教務課長
豊島 芳樹	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
常田 悟	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
勝本 裕子	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
松原 啓之	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
横山 友之	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
西野 史人	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
白藤 浩史	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
橋屋 昌央	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
原田 充啓	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員(株式会社アドヒップ代表取締役)

(開催日時)

第1回 平成28年9月23日 実施済

第2回 平成29年3月16日 実施済

### 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

科目名	科目概要	連携企業等
ギターエンジニア実技	ギター、ベースを製作し、具体的な工具の使用法、治具作成、木工加工、塗装等の製作工程を基礎からマスターします。	松原工房
ギターエレクトロニクス	エレクトリックギター・ベースに不可欠となる電気配線や電気信号の流れを理解し、基本的な電気理論をマスターすることを目的とします。電気回路の設計や半田付けの技術を学びます。	カナヤ光輪株式会社LM楽器部 2nd factor

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年11月28日現在

名 前	所 属
三原 淑治	エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長
高橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)
瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにおいて公開(URL: <http://www.cat.ac.jp/information/public>)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページにおいて公開(URL: <http://www.cat.ac.jp/information/public>)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

文化・教養専門課程 楽器ビジネス学科 キターエンジニア専攻										
分類			授業科目	授業概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			音楽業界概論	楽器業界におけるブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的としています。	1・2年通年	128	8	○		
○			音楽機器理論	ミュージシャンの楽器サポートや機材コントロールPAの基礎知識を用いた音像構築補助等、多岐に渡るテクニシャンワークをマスターします。	1・2年通年	128	8	○		
○			サウンドメイキング	ギター・ベースについて基本的な各機構・構造から学び、実際にクラフト実習で製作するギター・ベースのプランニングから設計、図面作成を行います。	1・2年通年	128	8	○		
○			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話対応、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習します	1・2年通年	64	4	○		
	○		ギターエンジニア実技	ギター、ベースを製作し、具体的な工具の使用法、治具作成、木工加工、塗装等の製作工程を基礎からマスターします。	1・2年通年	384	12			○
	○		ギターエレクトロニクス	エレクトリックギター・ベースに不可欠となる電気配線や電気信号の流れを理解し、基本的な電気理論をマスターすることを目的とします。電気回路の設計や半田付けの技術を学びます。	1・2年通年	256	8			○
	○		ギターインストゥルメントゼミ	取り扱いが難しく、復元の方法も限定されるオールド楽器の特徴を理解します。調整・修理の際に必要な楽器別の知識と注意点を紹介し、オールド楽器への理解と必要技術をマスターします。	1・2年通年	128	8		○	
	○		ミキシング実習	関連機器を扱う上で必要となる音響に関する基礎知識、ケーブル・マイクスタンド等の取り扱いを学び、コンサートライブ現場でのコミュニケーション法や必要となる知識・技術の基本を実習形式でマスターしましょう。	1・2年通年	128	4			○
	○		ギターテクニシャン実習	リペア(修理・調整)をメインに実習を進めます。ギターの分解、組み立て、調整からパーツ交換、調整等を実施。また、アコースティックギター等の修理実習を行いより発展させた応用技術までを学びます。	1・2年通年	128	4			○
	○		ギター演奏実技	ギター製作者やリペアマンにとって必要なギターやベースのベーシックテクニックについて身につけます。製作物や修理品などの楽器をより正確に診断するための演奏法の理解を目指します。	1・2年通年	128	4			○
	○		演奏実技(ホーカル、ギター、ドラム、ベース、パーカッション、シンセ、ピアノ)初級、上級アンサンブル、作曲論、ワープロ講座、パソコン講座、英会話	選択必修のうち、1科目を個人の方向性に合わせて選択して受講します。専門分野以外を学習することで、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施しています。	1・2年通年	128	4			○
合計			ギターエンジニア専攻	11科目		1728単位時間		(	72 単位)	

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
キャットミュージック カレッジ専門学校		1988年3月30日	井原 延治		〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話)06-6369-1101	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人大阪創都学園		1988年3月30日	鈴木 雅文		〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話)06-6369-1101	
目 的	本校は教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・ 教養	文化・教養専門課程	楽器ビジネス学科 ピアノ調律専攻	昼 2年	1728単位時間 (又は単位)	H17.12.26 文科省 告示第176号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		576単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1152単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		16人	4人	3人	7人	
学期制度		■前期 4月1日～9月30日 ■後期 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有・無) 有り ■成績評価の基準・方法について 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価	
長期休み		■学年始め: 4月11日 ■夏 季: 7月21日～8月31日 ■冬 季: 12月21日～1月9日 ■学 年 末: 3月21日		卒業・進級条件	前後期総合評価結果及び2/3以上の出席	
生徒指導		■クラス担任制(有・無) 有り ■長期欠席者への指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動(有・無) 無し	
主な就職先		■主な就職先、業界 楽器製造・卸・販売及び音楽関連業界 ■就職率※1 81.82% ■卒業者に占める就職者の割合※2 81.82% (平成28年度卒業者に関する平成29年4月時点の情報)		主な資格・検定	ピアノ調律技能検定 3級	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 16.67%</p> <p>平成28年4月1日在学者 24名(平成28年4月入学者を含む)</p> <p>平成29年3月31日在学者 19名(平成29年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>・経済的理由 ・別途進路へ進む為</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>個人面談を定期的に実施個別のマッチング状況確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.cat.ac.jp/">http://www.cat.ac.jp/</a>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
  - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
  - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- ※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

### 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の理念でもある、“企業にとっての信頼できる教育機関である”ために、教育課程編成においては、より業界ニーズに対応できるよう、実践的な教育カリキュラムの開発や施設設備及び実践研修環境の充実を図ることを目的とし、教育課程編成において業界関係企業と連携していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月16日現在

名前	所属
井筒 稔晴	一般社団法人日本音楽スタジオ協会(有限会社グルーヴ代表取締役)
里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス 代表
稗田 奨	J・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー 代表 Producer
井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ 代表
森 久誌	株式会社 フォレスト
木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス 代表取締役
森 正	キャットミュージックカレッジ専門学校 教務主任
小池 敏	キャットミュージックカレッジ専門学校 キャリアセンター課長
杉山 徹	キャットミュージックカレッジ専門学校 教務課長
豊島 芳樹	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
常田 悟	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
勝本 裕子	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
松原 啓之	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
横山 友之	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
西野 史人	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
白藤 浩史	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
橋屋 昌央	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員
原田 充啓	キャットミュージックカレッジ専門学校 教員(株式会社アドヒップ代表取締役)

(開催日時)

第1回 平成28年9月23日 実施済

第2回 平成29年3月16日 実施済

### 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

科目名	科目概要	連携企業等
修理実技	塗装や部品交換等のピアノ修理の知識や技術を身につけていきます。塗装においては塗装セットを用いて外装の部分塗装の実習を、部品交換においては各パーツの取り替え作業をそれぞれ繰り返し行いそれぞれの技術を養います。	株式会社ダイヤ塗装

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。



#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年11月28日現在

名 前	所 属
三原 淑治	エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長
高橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)
瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにおいて公開(URL: <http://www.cat.ac.jp/information/public>)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページにおいて公開(URL: <http://www.cat.ac.jp/information/public>)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

文化・教養専門課程 楽器ビジネス学科										
分類			授業科目	授業概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			音楽業界概論	楽器業界におけるブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的としています。	1・2年通年	128	8	○		
○			音楽機器理論	ミュージシャンの楽器サポートや機材コントロールPAの基礎知識を用いた音像構築補助等、多岐に渡るテクニシャンワークをマスターします。	1・2年通年	128	8	○		
○			サウンドメイキング	ギター・ベースについて基本的な各機構・構造から学び、実際にクラフト実習で製作するギター・ベースのプランニングから設計、図面作成を行います。	1・2年通年	128	8	○		
○			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話対応、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習します	1・2年通年	64	4	○		
		○	調律実技	ピアノ調律師に必要な調律技術の基礎を学びます。学生一人につき、一台のピアノと実習室という環境でマンツーマンの指導を行います。	1・2年通年	384	12			○
		○	整調実技	ピアノは、複雑なメカニズムによってつくられています。心臓部であるアクションをはじめとしたピアノのメカニズムを把握し、調節・調整するための作業を学び技術を習得していきます。	1・2年通年	256	8			○
		○	調律講義	ピアノ調律師に必要な音全般の知識を学びます。長い歴史の中でピアノがどのように発達し、現在の構造になっているのか、そして音を構成するさまざまな要素を解説しながらピアノに対しての造詣を深めます。	1・2年通年	128	8	○		
		○	修理実技	塗装や部品交換等のピアノ修理の知識や技術を身につけていきます。塗装においては塗装セットを用いて外装の部分塗装の実習を、部品交換においては各パーツの取り替え作業をそれぞれ繰り返し行いそれぞれの技術を養います。	1・2年通年	128	4			○
		○	グランド整調実技	グランドピアノを用いて整調をおこないます。ピアノを歴史的に見ると、グランドピアノの方が古く、グランドピアノの構造を理解することが基本になります。2年次に行うグランドピアノ調律にも対応している授業です。	1・2年通年	128	4			○
		○	ピアノ演奏実技	ピアノ調律師として必要なピアノの演奏力を身につけます。ピアノを演奏することで、調律において必要なハーモニーやアクションなどタッチの感触などをより深く側立って確認することができます。	1・2年通年	128	4			○
		○	演奏実技(ホーカ、ギター、ドラム、ベース、パーカッション、シンセ、ピアノ)初級、上級アンサンブル、作曲論、ワープロ講座、パソコン講座、英会話	選択必修のうち、1科目を個人の方向性に合わせて選択して受講します。専門分野以外を学習することで、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施しています。	1・2年通年	128	4			○
合計			ピアノ調律専攻	11科目		1728単位時間		(	72 単位)	